

## 〔付〕 1. 平成19年度事業計画

平成19年 4月 1日

### I. 平成19年度の事業概要

建学の精神を基盤として“社会のニーズに応えることのできる医療人の育成と、医学・医療の開拓”を学校法人慈恵大学の使命とし、その実現のために事業計画を立て推進する。

平成19年度の事業計画は、「質の高い医療人の育成」「医学・医療の開拓」「法令遵守の徹底」「医療安全の推進」「財政基盤の確立」を基本方針とする。

#### 「平成19年度事業計画 基本方針」

##### 1. 医療人の育成に関する基本方針

- 1) 質の高い医科大学と附属病院を目指して、教育、研究、診療、管理運営の改善・充実を図る。
- 2) 本学の特色ある卒前・卒後教育システムを確立する。

##### 2. 医学・医療の開拓に関する基本方針

- 1) 特色ある研究と診療を推進し、競争的研究資金の獲得を目指す。

##### 3. 法令遵守の徹底に関する基本方針

- 1) 教職員の法令遵守の意識を高める。

##### 4. 医療安全の推進に関する基本方針

- 1) 患者サービスを改善充実させる。
- 2) 科学的根拠に基づいた手法で医療安全の向上を図る。

##### 5. 財政基盤の確立に関する基本方針

- 1) 収入増と経費の削減を図る。

### II. 法人運営に関する計画

#### 1. 法令遵守の徹底

- 1) 慈恵大学行動憲章・行動規範の徹底と内部監査室による不正行為防止の推進を図る。
- 2) 公益通報制度の周知と有効利用を促す。
- 3) 補助金の監査を継続的に実施し公的資金適正使用を徹底する。
- 4) 個人情報保護に関する注意を継続的に喚起する。

#### 2. 財政基盤の確立

- 1) 業務の改善、組織および要員配置の見直しを行い職員数の適正化を図り、業務の効率化と人件費の抑制を図る。
- 2) 学内横断的タスクフォース活動の全学的普及・拡大を図り、経営の見直しを推進し、経費の抑制と医療収入の増収を図る。
- 3) 平成19年度帰属収支差額目標を8億円（現・預金積み上げ5億円）とする。

#### 3. 人材育成・教育制度の構築（ヒューマンリソースマネジメントの検討）

- 1) 人材育成のための教育制度を構築する
- 2) 教員評価システムの稼動による効率的な教員・医師人事制度の実現、および体系的な教職員人事評価制度の検討を進める。

#### 4. 広報活動の充実

- 1) 広報部門の充実を図り、本学の情報（社会貢献、研究成果、医療貢献などの情報）を積極的

に学内外に発信する。

- 2) 問題が発生したときに速やかに対応できるように青戸病院、第三病院、柏病院における広報体制の充実を図る。

#### 5. 青戸病院リニューアルプロジェクトの推進

- 1) 医療人育成と良質の医療を实践するため、青戸病院リニューアル計画を推進する。
- 2) 青戸病院の建替えに関して、行政折衝、地域住民合意を経てプロジェクトを推進し、基本設計の具体案を策定する。

#### 6. 本院外来棟建築計画に向けた準備

- 1) 本院外来棟の建築に向けてプロジェクトチームを立ち上げ、西新橋キャンパス全体を視野に入れた将来計画を立てる。
- 2) 4 附属病院の機能分化、特色化、および西新橋キャンパスの有効利用を考慮した基本的コンセプトを策定する。

#### 7. 大規模災害発生時の危機管理体制の整備

- 1) 全学的な大規模災害対策指針の周知と大規模災害発生を想定した 4 機関の連携・支援体制を確立する。
- 2) 4 機関における大規模災害発生時のマニュアルに基づく訓練の実施体制を整備する。

#### 8. IT 化の推進

- 1) 附属病院オーダリングシステムの導入に続いて、診療部門の IT 化推進と、今後の IT グラウンドデザインの再構築を図る。

### Ⅲ. 教育・研究に関する計画

#### 1. 特色ある教育・研究の推進

- 1) 医学科カリキュラムの点検とより質の高い卒前教育を推進する。
- 2) 教育センターの支援を受けて医学教育、看護教育、卒後臨床研修、専門修得コースの改善・充実を図る。
- 3) E-learning を導入し、シラバスの電子化と公開を推進する。
- 4) 4 附属病院を活用した多用な看護師育成プログラムを確立する。
- 5) 大学院改革の継続的推進と大学院生数の増加へ向けた改善を図る。
- 6) 特色ある看護学科大学院修士課程設置に向けた準備を進め必要な手続きを完了させる。
- 7) 特色ある教育・研究を推進するため、学外研究資金の獲得や導入に積極的に取り組む。
- 8) 特色ある教育・研究を推進するためにグローバル COE など大型資金の獲得を目指す。

#### 2. 卒後教育の充実・改善

- 1) 初期臨床研修に続く専門修得コースプログラムの改善・充実を図る。
- 2) 生涯学習センター活動の充実・改善を図る。
- 3) 看護師の再教育システムを検討する。
- 4) 大学基準協会の「医学教育に関する基準」に準じた本学の教育の検証を行う。

#### 3. 入学試験の改善

- 1) 医学科入試の問題点を継続的に検討する。
- 2) 看護学科の入学試験応募者数を増やすための具体策を検討する。

4. 大学間の連携の継続的検討
- 1) 上智大学、首都大学東京などとの連携を推進する。

#### IV. 診療に関する計画

1. 医療安全管理の推進
  - 1) 4 附属病院の医療安全推進室を強化し慈恵グループとしての連携を推進する。
  - 2) 4 附属病院の医療安全管理体制の点検評価と事故などへの迅速対応体制を確立する。
  - 3) 医療安全管理に関するワークショップ、シンポジウム、医療安全週間を継続して実施する。
  - 4) 本学が中心となり、私立医科大学協会での活動を通して全国の私立医科大学病院における医療安全の推進に貢献する。
  - 5) 医療の質と技術の向上のための取り組みを推進する。
  - 6) システム工学の視点で医療安全管理体制を点検し問題点を抽出する。
2. 先進医療の推進
  - 1) 患者のニーズに応える先進医療に積極的に取り組む。
  - 2) 低侵襲的手術を始めとした先進医療のトレーニングシステムを構築する。
3. 患者サービス・病診連携の推進
  - 1) 患者支援・医療連携センターの機能を充実させ、病診連携の強化と病床利用の効率化を図る。
  - 2) 診療体制と病院環境の整備を行い患者満足度の向上を図る。
  - 3) 医療情報を積極的に開示する。
  - 4) 市民公開講座を積極的に開催する。
4. 効率的な医療の推進
  - 1) 平成20年度の青戸病院、第三病院、柏病院における、DPC 導入前に事前準備をして円滑な導入を図る。
  - 2) DPC に対応したクリニカルパスを普及させ、治療の標準化を図り、安全で効率的な医療を推進する。
  - 3) 附属病院のオーダーリングシステム導入を遅滞なく行う。
  - 4) 医師、看護師、コメディカルの業務分担の見直しを図る。
  - 5) 学内横断的タスクフォース活動を 4 附属病院で普及させ、慈恵グループ全体の医療の効率化と収益力の向上を目指す。
5. 予防医学の推進
  - 1) 「総合健診・予防医学センター」と各病院の健診部門との連携を強化し発展させる。
  - 2) スポーツクリニックとスポーツ医学の再興  
スポーツクリニックとスポーツ医学研究を見直し、一般人を対象とした運動処方と栄養指導を行う。また、スポーツクリニックを支援する体力医学研究を推進する。
6. 森田療法センターの開設
  - 1) 第三病院に森田療法センターを開設し、本学の特色ある医療を広く情報発信する。
7. 4 附属病院の救急診療のあり方と本院のバックアップ体制を検討する。